

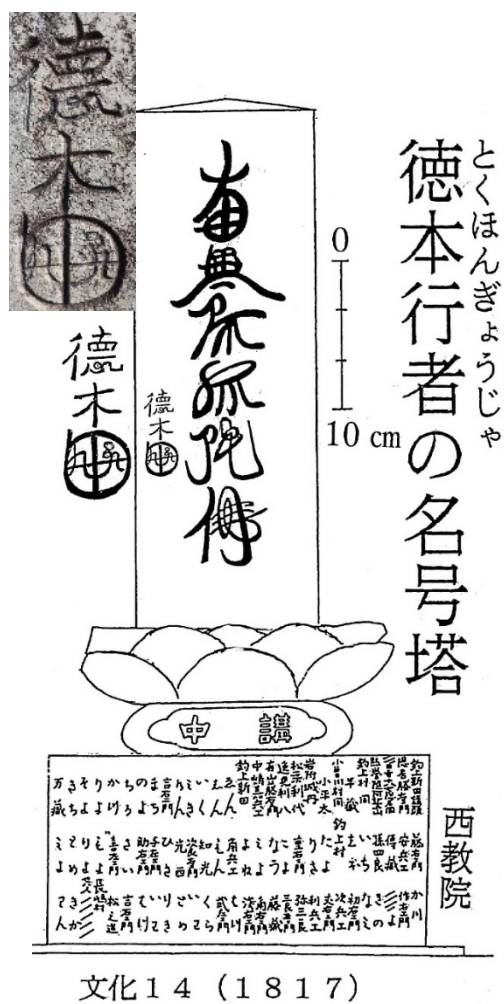
一・西新井にある徳本行者の名号塔とその真筆の掛軸

加藤 幸一

徳本行者（徳本上人）は、江戸後期の浄土宗の僧侶で、宝暦八年（一七五八）の紀伊国（和歌山県）の生まれで、念仏を広め活躍した代表的な念仏僧である。全国を回り民衆から熱狂的な支持を集めた。各地に独特の書体による名号塔が多く残されている。越谷市内の徳本行者の名号塔は、増林の林泉寺、越ヶ谷の天嶽寺、越ヶ谷の観音横丁の観音堂、西新井の西教院に見られる。

〔西教院の徳本行者の名号塔〕

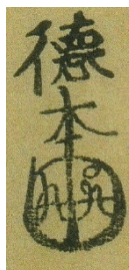
西教院の文化十四年（一八一七）に造立された名号塔は次のとおり。（スケッチ加藤）



右の石塔では「徳木」と刻まれているが、「徳本」の刻み間違いである。信仰の対象となる僧侶の名前の刻み間違いはとても珍しいであろう。台座には奉納者の名前がびっしり刻まれている。正面には76名、向かって右側面には82名、向かって左側面には79名、裏面にも76名がびっしりと刻まれ、多くの周辺の村々の名前もみられ、地元では熱狂的な支持を受けたことがわかる。

〔内山家の徳本行者の真筆の掛軸〕

0 — 10 cm



内山家には、西教院の檀家であり、長島村で代々名主を勤めた家柄である。ここに徳本行者の真筆の掛軸がある。現在に至るまで大事に残っているのはとても珍しいのではない。なお、書の方には正しく「徳本」と書かれているが、この書を元に石工が彫った石塔には「徳木」と誤って刻まれている。

徳本行者の名号塔（『越谷市金石資料集』に掲載なし）

所在地 西新井・西教院墓地(東側)
石塔型式 頭部山状角型(南西向き・高さは高
年 号 文化十四年(一八一七)

「台」

石

はかくゆすさまむ宗久田か林し利金弥ちミかりセもとよりい
るるめききよきめ語兵兵村ん蔵ん介門左良よんきのめしよき
せりみもきさはち荻はそいそよゑきそふいセ八野
んよよとよきつ右人島はそいそよゑきそふいセ八野
りきりますミかさいとさふもひさはさ人太左山袋休喜留ろもとしつ
さちさつききんかさらききとめいつんよ八山人心右工けよらほき

※左側面の名前は、固形墨を使った乾拓法で写し取って解読。

「右側面」

[illegible]

裏面

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|------|----|---------|-------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|-----|------|-----|-------|-----|------|-----|----|-----|---|----|
| よし | ろい | こゑん | さんと | きよ | すて | セハ八浅右エ門 | 大道村 | 伊左エ門 | 喜兵エ | 須賀村 | ろく | 安左エ門 | 太兵エ | 忠蔵 | 作右エ門 | 佐吉 | まつ | 富蔵 | セハ八源七 | 砂原村 | 利右エ門 | さん | くゑ | まい | い | 山台 |
| のふ | ミよ | ちよ | 勇兵エ | りは | 郡蔵 | 上間久里村 | 下間久里村 | 清右エ門 | 大里村 | 藤蔵 | 平林寺村 | 吉右エ門 | もよ | もよ | もよ | ちう | まや | かし | 仲右エ門 | ひめ | はつ | ひめ | 長助 | つね | 石 | |
| 鉤上弥右エ門 | 後谷村 | 庄兵エ | 平間村 | 下新井村 | 文八 | 三ノ宮村 | 大村 | 弥右エ門 | 神明下村 | 常右エ門 | ちよ | きよ | 孫市 | 後谷村 | 平助 | 大沢町 | 玄番新田 | 増林村 | 惣八 | 大森村 | とら | 越巻村 | みき | 勘兵エ | | |

[正面]

南無阿彌陀仏

徳木（花押）

申

中
 萬 蔵
 きそ
 ちよ
 りよ
 かつ
 ちの
 まよ
 吉右
 右門
 けん
 きき
 いくん
 しん
 めん
 新田
 中嶋
 嘉兵衛
 藤右
 山門
 講有
 逸見
 利八
 松葉
 利代
 岩附
 城内
 小平
 太同
 小曾
 川村
 同
 半蔵
 同
 上村
 同
 黙蒼
 隨阿
 彌鷲
 山同
 當寺
 十八
 世隱
 居同
 隱居
 勝右
 門
 上
 新田
 講頭
 石
 藤右
 門
 安兵衛
 伝蔵
 孫四
 良
 しい
 ほち
 初右
 門
 なミ
 作右
 門
 口よ
 きの
 次兵衛
 丈右
 門
 利兵衛
 三良
 彌三
 良
 三良
 左門
 藤蔵
 角右
 門
 浅右
 門
 はつ
 武左
 門
 くわ
 とい
 わ
 きめ
 いり
 とい
 光西
 次良
 右門
 光西
 ひ左
 門
 与左
 門
 助右
 門
 喜左
 門
 さい
 門
 もよ
 長嶋
 村
 セ八
 人
 りき
 んか

文化十四丁丑年六月吉日

越谷市内の徳本行者の名号塔の分布(四ヶ所)
とくほん みちうじ

